

令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	国語表現（後）	必修・ 選択	単位数	2
教科書・副教材等	国語表現 改訂版 （ 教育出版 ）					
学習の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。					
評価の観点	1 関心・意欲・態度 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 2 話す・聞く能力 目的や場に応じて効果的に話しの確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。 3 書く能力 相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。 4 知識・理解 言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。					
評価の方法	上記4つの観点について、授業への出席状況、授業中の態度、課題等の提出状況、発表の仕方や内容、定期考査等から総合的に評価を行う。					
	単元		主な学習内容			
前期	9	プレゼンテーションの方法	・プレゼンテーションの流れについて理解し、説得力のある話し方の技術について学習する。			
	10	小論文Ⅱ	・要約の方法を理解し、二つのタイプの小論文の実践的な書き方を身に付け、論理的に意見を述べる力を養う。			
	11	話し合いの方法	・目的に合わせた話し合いの形式や手法を学び、意思決定や合意形成のための会議の方法とルールを理解する。			
	12	エッセイを書く	・文章の中で最も自由な形式であるエッセイを書くことで、読者の存在を想定した文章作りの基礎を学ぶ。			
後期	13	物語を作る	・さまざまな物語作りのプロセスを体験するとともに表現を楽しみ、作品を一冊の物語集にまとめる。			
	14	メディア・リテラシー	・身の回りのさまざまなメディアについて知り、それぞれの特性をふまえた情報発信とその社会的意味について認識を深める。			
	15	社会に働きかける表現	・イベントを企画し実行することを想定して、企画会議から事後処理までの一連の流れを学習する。			